

コンクリートの耐久性確保に係る措置について

昭和61年6月2日付建設省住指発第142号による「コンクリート中に含まれる塩化物総量の規制」、平成元年7月17日付建設省住指発第244号による「アルカリ骨材反応抑制対策に関する指針」が定められ実施されています。

令和4年5月分の製品の分析結果は下記の通りです。

1. コンクリート中に含まれる塩化物総量の規制

コンクリート1立方メートル中に含まれる塩化物(塩素イオン換算)の含有量を0.3kg以下とする。

ベストン中に含まれる塩分濃度	
NaCl	0.002 %
塩素イオン換算値	NaCl × 換算係数
	0.002 % × 0.607 = 0.0012 %
[注]0.607は換算係数(Cl/NaCl=35.5/58.5=0.607)	

2. アルカリ骨材反応抑制対策に関する指針

普通ポルトランドセメントを使用する場合、コンクリート1立方メートル中に含まれるアルカリ量(酸化ナトリウム換算)の総量を3kg以下とする。

ベストン中に含まれるアルカリ量	
Na ₂ O	0.100 %
K ₂ O	0.80 %
Na ₂ O _{eq} (R ₂ O)	Na ₂ O + 0.658 × K ₂ O 0.100 + 0.658 × 0.80 = 0.626 %

3. 単位セメント量を300kgとした場合の計算例

①コンクリート1m ³ 中のベストン量	300 kg/m ³ × 6 % = 18 kg/m ³
②ベストン中に含まれる塩分	18 kg/m ³ × 0.0012 % = 0.000216 kg/m ³
③ベストン中に含まれるアルカリ量	18 kg/m ³ × 0.626 % = 0.11268 kg/m ³

以上

令和4年5月31日

分析試験結果報告書

御中

ベストン株式会社

東京都荒川区西日暮里5-2-19

TEL 03-5615-3165 FAX 03-5615-3166



試料番号	CG03219-03221
試験年月	2022年5月
品名	ベストン

分析項目	規格値	分析値	
Ig.loss	6 % 未満	5.11	%
SiO ₂	70 % 以上	72.8	%
Al ₂ O ₃	15 % 未満	10.70	%
Fe ₂ O ₃	5 % 未満	3.78	%
CaO	5 % 未満	1.24	%
MgO	5 % 未満	1.96	%
R ₂ O	1.5 % 未満	0.626	%
NaCl	0.05 % 未満	0.002	%
Na ₂ O		0.100	%
K ₂ O		0.80	%
Cl ⁻		0.0012	%
密度	2.64 ± 0.2	2.74	g/cm ³

※注 R₂O=Na₂O + 0.658 × K₂O (%)
Cl⁻ =NaCl × 0.607 (%)

分析試験実施機関
JFEテクノリサーチ株式会社
ソリューション本部(千葉) 本部長 藤本 京子
〒260-0835 千葉市中央区川崎町1番地(JFE千葉構内)
TEL 043-262-2313 FAX 043-262-2199